



令和 8 年 8 月号

この号の内容

ページ 1

県南 3 消防本部

通信指令担当者会議について

ページ 2

駆け込み通報装置について

ページ 3～4

救急車を呼ぶか迷った場合

ページ 5

現地調査について

ページ 6

119 番通報 Q&A



あぶくま消防本部
指令課だより
【広報誌】

県南3消防本部

通信指令担当者会議について



【事例発表】



【映像サポート 119 操作実演】

「県南 3 消防本部通信指令担当者会議」を開催しました。

令和8年7月3日、あぶくま消防本部を会場として、宮城県南エリアの 3 消防本部(仙南消防本部・名取市消防本部・あぶくま消防本部)による通信指令担当者会議を開催しました。

この会議は毎年実施しており、各消防本部の通信指令担当者が、119 番通報の受付や通信指令業務において、対応に苦慮した事例や効果的な対応事例を発表しました。各消防本部の経験を共有することで、通信指令業務のさらなる質の向上につながる有意義な会議となりました。

また、あぶくま消防本部通信指令室で運用している「映像サポート 119」の模擬通報による操作実演も実施しました。参加者からは、「映像によって現場の状況がより正確に把握できる」「心肺蘇生法などの応急手当の手本となる映像を通報者へリアルタイムに共有できるため、適切な応急処置を支援でき、救命率の向上が期待できる。」といった前向きな意見が多く寄せられました。

当消防本部では、今後も近隣の消防本部との連携をさらに深め、通信指令業務の充実と住民サービスの向上に努めてまいります。

か こ つうほうそうち 「駆け込み通報装置」について

【駆け込み通報装置(かけこみつうほうそうち)とは?】

消防署の入り口などに、緊急用の「駆け込み通報装置(インターホン)」が設置されています。
夜間や出動中などで消防署に職員がいないときでも、指令センターに直接つながり通話ができる装置です。



通常のインターホン

駆け込み通報装置



扉を開き、
受話器を上げ
るだけでつな
がります。

(画像は「岩沼消防署」国道4号バイパス側玄関前の装置です。)



「亘理消防署」と「山元分署」は、
赤いケースに入り、単体で設置
されています。

(画像は「亘理消防署」国道6号側車庫前の装置です。)

- 職員がいないときでも、24 時間いつでも通話が可能です。

夜間や、職員が火災・救急の出動で留守にしているときでも、受話器を上げるだけで、通信指令センターと直接つながり、担当者とお話いただけます。

- 周りの人に助けを求めることができます。

通報中の音声は、消防署のスピーカーから内外に向かって大きな音で放送されます。

救急車を呼ぶか迷った場合（おとな）

おとな救急電話相談

シャープ なな いち いち きゅう

短縮ダイヤル **#7119**

または、**022-706-7119**に電話を！
(#7119をご利用いただけない電話があります)

＼ 医療スタッフが電話で直接アドバイス！ ／

- 症状のご相談
- 対処についてのアドバイス
- 休日・夜間に受診できる医療機関のご案内

相談時間 24時間365日

こんな時は
#7119

紹介動画



病気やけがで、救急車を呼ぶか迷う場合や、応急処置の方法が知りたい時は、成人なら「おとな救急電話相談」(#7119)に連絡をお願いします。

看護師などが対処方法について助言するほか、受診の必要性、受診可能な医療機関を案内します。 **相談時間：24時間 365日**

※この電話は、あくまで相談と助言を目的とするものであり、緊急・重症の場合は、迷わず119番へお願いします。

救急車を呼ぶか迷った場合（こども）

夜間のお子さんの急な病気・けがで困ったら!

こども夜間安心コール

#8000

または、**022-212-9390**に電話を!

(#8000をご利用いただけない電話があります)

医療スタッフが受診の必要性や対応方法等を助言するほか、受診できる医療機関をご案内します。

対象者 15歳未満のお子さんの保護者等

相談時間 午後7時から翌朝8時まで

宮城県



(©宮城県・旭プロダクション)

宮城県のこども夜間安心コールは、15歳未満のこどもの保護者が夜間に急な病気やけがで困った際に医療スタッフが受診の必要性や対応方法を助言し、医療機関案内を行うサービスです。

相談：午後7時から翌朝8時まで

対象：15歳未満のお子さんの保護者等

※この電話は、あくまで相談と助言を目的とするものであり、緊急・重症の場合は、迷わず119番へお願いします。

「現地調査」について

あぶくま消防本部指令課では、119 番通報を受信した際、災害現場へ消防隊や救急隊が迅速・確実に出動するため、管轄内(岩沼市・亶理町・山元町)の現地調査を随時実施しています。

調査で得た最新の情報は、119 番通報を受ける指令台の地図データに反映させ、現場位置の正確な把握に役立てられます。

住民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

調査対象エリア： 岩沼市、亶理町、山元町の全域

調 査 内 容： 新築住宅、新しい店舗・事業所、新設道路などの状況確認

調 査 方 法： 消防関係車両を使用し、指令課職員が現地を確認します。

住民の皆様へのお願い

個人宅への訪問について： 調査内容を詳しく確認するため、職員が個人宅や店舗を訪問し、お話を伺う場合があります。

職員の身分について： 調査を行う職員は、必ず「活動服」を着用し、「消防手帳」を携行しています。

※不審に思った場合は手帳の提示を求めるか、当消防本部までお問い合わせください。



119番通報 Q&A

Q：携帯電話から119番をかけると、お金はかかる？

A：119番通報は無料です。



Q：サイレンを鳴らさないで来てくれるの？

A：原則できません。消防車や救急車は緊急自動車として安全・迅速に現場に向かうため、サイレンと赤色警光灯を使用して出動します。



Q：間違えてかけたら、すぐ切っていいの？

A：間違えて発信した場合でも、そのまま電話を切らずに「間違えました」とお伝えください。無言で切れてしまうと、事故や急病の可能性を確認するため、折り返し連絡や出動する場合があります。



Q：119番通報をしたら最初になにを伝えればいいですか？

A：「火事です」「救急です」など、なにが起きているのかを最初に伝えてください。その後、場所や状況などを通信指令員がお聞きしますので、落ち着いて答えてください。



Q：携帯電話からの通報で、その場所の住所がわからない時は？

A：まず、あなたの周辺にある目立つ建物（コンビニや交差点の名称など）を教えてください。目印になるものがなければ、どこからどこへ向かっている途中かをお知らせください。



Q：救急車を呼んだあと、電話は切ってもいいですか？

A：通信指令員から「電話を切ってお待ちください」と案内があるまでは切らないでください。応急手当の方法をお伝えするとともに、詳しく状況の確認を行う場合があります。



Q：外国語で119番通報はできますか？

できます。必要に応じて通訳サービス（※）を利用し、多言語での通報に対応しています。落ち着いて119番通報してください。

（※令和8年7月現在、当消防本部は32言語対応のサービスを利用中です。）

